

第4回「弥富市地域公共交通活性化協議会」 議事録

平成 23年1月31日(月)

時間 午後2時から

場所 図書館視聴覚室

議 事

山崎議長	・ただ今から、「第4回弥富市地域公共交通活性化協議会」を開催する。
服部市長	<ul style="list-style-type: none"> ・大変寒い中、本協議会への出席を感謝する。 ・昨年12月に開催した協議会では、実態調査やモニタリングの結果を元に、平成23年度からの運行計画について審議していただいた。それを元に来年度の運行ルート等の修正案を作成したので、忌憚のないご意見をいただき、より良いコミュニティバスの運行に結び付けていきたいと思っている。 ・地域公共交通活性化事業は、国に出している概算要求として305億円の予算が計上されている。現在進行中の国会の審議の後に決済されるが、予算的には当初より厳しい状況である。 ・本日は4つの議題があるが、よろしくお願ひしたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは議題に入る。本日の議題は、ルート・バス停の見直し検討、ダイヤ変更、愛称募集、その他と4つある。 ・はじめにルート・バス停の見直し検討案について事務局より資料の説明をしていただく。
事務局(伊藤)	<p>資料の確認</p> <p>資料1: ルート・バス停の見直し検討(案)</p> <p>資料2: ダイヤ変更(案)</p> <p>資料3: 愛称募集について</p> <p>参考資料: バス協賛金(広告)事業、定期券デザイン(案)、地域公共交通確保維持改善事業</p>
事務局(伊藤)	<p>資料説明</p> <p>議題(1) ルート・バス停の見直し検討(案)について・・・資料1</p> <p>北部ルート バス停名称変更 「又八神社」 「又八」</p> <p>東部ルート ルート変更(佐古木駅 竜頭公園)</p> <p>全ルート イオンタウン内へ乗り入れ(バス停位置変更)</p> <p>東部ルート ルート変更、バス停追加「馬ヶ地」</p> <p>東部ルート バス停位置変更「十四山中学校」</p> <p>南部ルート バス停追加 「芝井南」</p> <p>南部ルート ルート変更 平日南部3、12便のルートを変更</p> <p>南部ルート ルート変更(現行ルートに戻す)</p> <p>南部ルート バス停位置変更、名称変更</p> <p>「愛知海運」 「大日本木材防腐」</p>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の協議会で出された意見を検討して、事務局で運行計画を見直したものである。 ・ルート案について、意見、質問はあるだろうか。

大木副市長	・稲元については、どうなっているのか。
事務局（伊藤）	<ul style="list-style-type: none"> ・それについては、前回、第3回の会議で提示したので、省略した。 ・前回の会議でいろいろなご意見をいただいたが、全ての意見を反映するのは難しい。基本的に、現在あるバス停は残した。狭い道で運行困難な場所について、ルート変更のご提案をいただいたが、今回の見直しには反映されていない。今後の検討課題とさせていただきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。
山崎議長	・本日は、ルートとダイヤの変更を承認いただく予定であるが、承認の前にダイヤ変更案もあわせて説明していただきたい。
事務局（伊藤）	<p>資料説明</p> <p>議題（2）ダイヤ変更（案）について・・・資料2</p> <p>全ルート：年末年始（12/29～1/3）休日ダイヤで運行 運休</p> <p>北部ルート（平日）：バス停の追加、日中（6便～15便）を総合福祉センター発着に変更、朝時間帯（8時以前）の運行区間の変更、1便増、19：40以降の3便廃止、ダイヤの一部変更</p> <p>北部ルート（休日）：バス停の追加、日中（3便～12便）を総合福祉センター発着に変更、朝1便の運行区間の変更、18：30以降の2便廃止、ダイヤの一部変更</p> <p>東部ルート（平日）：バス停の追加、総合福祉センターまでルート延伸、日中（3便～6便）を総合福祉センター発着に変更、左右交互運行に伴うダイヤの変更（1便減）、20：30以降の1便廃止</p> <p>東部ルート（休日）：バス停の追加、総合福祉センターまでルート延伸、日中（1便～4便）を総合福祉センター発着に変更、左右交互運行に伴うダイヤの変更（1便減）、18：00以降の2便廃止</p> <p>南部ルート（平日）：バス停の追加、総合福祉センターまでルート延伸、日中（4便～12便）を総合福祉センター発着に変更、ルート変更に伴うダイヤの変更（2便減）</p>

	<p>20：30以降の2便廃止</p> <p>南部ルート（休日）：バス停の追加、総合福祉センターまでルート延伸、</p> <p>日中（1便～9便）を総合福祉センター発着に変更、</p> <p>ルート変更に伴うダイヤの変更（2便減）</p> <p>19：00以降の1便廃止</p>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・夕方の便があまりにも利用者が少ないということで、経費節減の意味もあり、時間帯による減便を行ったということである。 ・また、全ルートで福祉センターとイオンタウンを経由する案となっている。 ・先ほどのルート案も含め、ダイヤ変更案について意見、質問はあるだろうか。
代理 梅田氏 （県交通対策課）	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1の地図の1ページ、2ページで、凡例に北部ルート廃止検討区間として、オレンジ色の点線があるが、地図上では見当たらない。廃止区間はないということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・すみません。凡例は前のものであり廃止区間はないので、図面の修正を行う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・他に、意見等はないだろうか。 ・南部ルートの工業団地のところで、朝夕の便でルートが一部ショートカットされるが、そのように申請すれば問題ないのか。
小林委員 （中部運輸局）	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・他に意見、質問はないだろうか。 ・それでは、今、事務局から提示されたルート、バス停の位置、ダイヤの変更に関して異議はないだろうか。
服部市長	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど事務局から説明があったとおり、年末年始、12月29日から1月3日までは、昨年の利用者も非常に少ないということで、運休となった。 ・一方で、土曜、日曜、祭日の運行についても検討した。運行が始まってまだ1年不足という状況で、まずは積極的にPRして利用の拡大を図るべきであるという事で、土日、祝祭日の運行は継続する事とした点を補足させていただく。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・本来、公共交通は年末年始は運行すべきであるが、あまりに利用者が少ない状況で、やむを得ない。土日は、今までどおり運行する方針ということである。 ・この件に関しては、意見、質問はよろしいか。 ・では、事務局案を承認いただける方は、挙手をお願いしたい。
委員一同	<p>挙手により承認</p>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは承認いただけたということで、申請に向けて事務局で手続きを進めていただきたい。 ・続いて、議題（3）愛称募集について、事務局から資料の説明をお願いする。

事務局（伊藤）	<p>資料説明</p> <p>議題（3）愛称募集について説明・・・資料3</p> <p>募集期間：平成22年12月24日～平成23年1月28日</p> <p>応募総数：364通</p> <p>応募名称：「きんちゃんバス」 54通</p> <p> 「きんちゃん号」 8通</p> <p> 「弥富バス」 6通</p> <p> 「金ちゃんバス」 5通</p> <p> 「やときんバス（号）」 5通</p> <p> 「きんぎょ（金魚）バス」 5通</p> <p> 他</p>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・年末から年始にかけて、コミュニティバスの愛称募集が行われた。バスのPRにもつながるといことで、企画されたと思う。 ・「きんちゃんバス」が54通と、圧倒的多数である。皆さん、一度全部にざっと目を通していただきたい。ひょっとすると、一人からだけの提案の中にも、キラッと光るいい愛称があるかもしれない。 ・せっかく公募したので、こういった公開された会議で決定したいと思う。 ・数からいうと、ひらがな表記の「きんちゃんバス」かなと思う。今までの福祉バスにきんちゃんがデザインされていて、きんちゃんバスと呼ばれていたことも関係するのではないか。 ・委員の皆さんから、意見はあるだろうか。特に市民委員の方々、いかがだろうか。
三村委員（公募委員）	<ul style="list-style-type: none"> ・バスに乗車するのは大人かもしれないが、幼児向けには「バス」も平仮名にした方がいいと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・応募名称の中には、すべて平仮名というのではないか。
三村委員（公募委員）	<ul style="list-style-type: none"> ・ない。バスは、皆、片仮名になっている。
坂下委員（福寿会）	<ul style="list-style-type: none"> ・私は、「きんちゃんバス」が良いと思う。平仮名ばかりでは、ちょっと読みにくいと思う。こんなにたくさんの愛称が集まるとは思わなかった。 ・愛称は「きんちゃんバス」でよいが、181番にある「弥富市巡回バス」という言葉を小さく入れてはどうだろうか。また、190番の「弥富の車窓から～弥富市民を乗せて～」も、温かみがあって良いと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・他には、いかがだろうか。 ・愛称は、バスにペイントするのか。
事務局（伊藤）	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、時刻表等に入れる。 ・バスへのペイントについては、今後検討したい。
伊藤委員（議会議長）	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のボディには「やとみ」と書かれているのではないか。 ・親しみやすいバスは当然望むことであるが、ボディへのペイントには大変な経費がかかるのではないか。

事務局（伊藤）	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、きんちゃんのキャラクターは、すべてのバスに描かれている。「きんちゃんバス」の名前は、今後、車両の入れ替えのタイミングで行っていきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく経費のかからない方向で、バス停や時刻表で「きんちゃんバス」という愛称を使っていくということである。「きんちゃんバス」に、まだ決まっていないですが…。 ・今、「巡回バス」という言葉をつけたらどうかという意見が出たが、あくまで愛称として考えると、いかがだろうか。公募でも「きんちゃんバス」が一番多かったし、このあたりで決めてはどうか。
長崎委員 （バス協会）	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の他の地域で同じような名称はないか、わかれば教えていただきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・一番多いのは、「ふれあいバス」である。「やとみ きんちゃんバス」という言い方もいいかもしれない。
伊藤委員 （公募委員）	<ul style="list-style-type: none"> ・愛称なので、「きんちゃんバス」でいいのではないか。現在、ほとんどの人が、「きんちゃんバス」と呼んでいる。皆さんが使っている呼称が、今回、正式に承認されたということでもいいのではないか。 ・愛称としては、「きんちゃんバス」が一番ふさわしいと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・「やとみ」は、現在バスに入っているし、愛称としては「きんちゃんバス」でいかがだろうか。先ほどいったとおり「ふれあいバス」の名称は各地であるし、特に重なっても、問題ないと思う。表記する時には、「やとみ」の文字は入れた方がいいと思う。 ・私は最近、「エコ通勤」という、いわゆるエコ通勤運動をやっている。いろいろな冊子やポスターを印刷した後で、島根県の国道事務所で同じ名前でやっていると感じた。同じ目的の活動を行っている人と連絡して、了承していただいた。 ・事務局、いかがだろうか。
事務局（伊藤）	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ今、ネットで同じ名称がないかどうか、確認している。後ほど、結果を報告する。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは先に、その他を説明していただくこととする。
事務局（伊藤）	<p>資料説明</p> <p>議題（3）その他…参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス協賛金（広告）事業について <ul style="list-style-type: none"> バス車両の広告規格と料金、広告掲載位置 バス停の広告（時刻表と経路図の間） ・定期券デザイン（案） <ul style="list-style-type: none"> 定期券、シルバーバスのデザイン
小林委員 （中部運輸局）	<p>資料説明</p> <p>「地域公共交通確保維持改善事業」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弥富市の場合は、「地域公共交通活性化・再生総合事業」において、22、23、24年度と3ヵ年の実証運行の予定であった。しかし、この「活性化再生総合

事業」はご存知のとおり、事業仕分けや国交省の方針で22年度限りで廃止となった。国交省としては、代わりに交通基本法で対応することになった。交通基本法が制定されても、予算が確保されないと事業は難しい。

- ・資料に「23年度公共交通関連予算の概要」があるが、これをご覧いただきたい。
- ・「地域公共交通確保維持改善事業」という新しい制度として、453億円の概算要求をしたところ、実際に閣議決定された金額は305億円となった。この間、関係者にパブリックコメントが行われ、評価委員による評価会議での評価がB判定であったために、このような予算が付いた。
- ・資料左上の「これまでの地域公共交通に係る国の支援策」は、地方バス路線維持対策や地域公共交通活性化・再生総合事業ほか、全部で8つあるが、それぞれ独立した補助制度だったものを、今回統合して行うということである。昨年度は全部の事業を合計すると、215億円程度の予算であった。それから考えると、305億円は、1.5倍に増額されている。国交省としては、地域公共交通に力を入れて取り組んでいるということである。
- ・下に22年度予算と23年度予算の比較がある。弥富市も取り組んできた「地域公共交通活性化・再生総合事業」は、22年度は40億円で、廃止となった事業ではあるが、23年度は経過措置として1年間、39億円の予算が付いた。弥富市の場合、来年もう一年は経過措置で予算が付くが、3年目は予算が付かない。右隣に「地方バス路線維持対策」があるが、22年度は68億円の予算だったが、23年度は「陸上交通の確保維持」として100億円の予算が付いているので、この分、地域の公共交通の支援の拡充となっている。新しい「地域公共交通確保維持改善事業」の要綱の要件に合致すれば今後、3年目以降も補助の対象になって来る。要綱は2月の末にならないと確定しないと聞いているので、今の段階でどうなるのかは、まだ不明である。
- ・「地域公共交通確保維持改善事業」と今までの事業との違いは、今までは3年間の実証運行期間という限定的な補助であったが、新しい事業では協議会に対して一体的に、期間を設けずに継続的に支援をしていくものである。その他にも、算定方式の変更等もある。今までは、決算で欠損が出た場合、事後補助の方式をとっていたが、事前算定方式となり、事前に標準的な経費や原価を算定して、収支を想定した上で事前に補助金を交付するものである。
- ・新制度「地域公共交通確保維持改善事業」についての説明会が、2月9日にウィルホールで開催される。まだこの時期には要綱は確定していないので、関係者の皆さんからの意見が要綱に反映されることもあり得るので、是非参加していただきたい。
- ・また別の案内になるが、中部運輸局と中部バス協会の協賛で「地域公共交通シンポジウム」が、「バスを活かしたまちづくりを考える」をテーマにして、岐阜市で2月22日に開催される。実は岐阜市では、連節バスの運行が決定している。大学教授による基調講演と、岐阜市の担当者からの基調報告、それからパネルディスカッションという構成である。こちらも是非参加くださるよう、案内させていただきます。

服部市長	<ul style="list-style-type: none"> ・弥富市としての要望を話したい。 ・先週の金曜日に西尾張ブロックの市長会議があった。要望として、この地域公共交通に対する恒久的な負担をお願いしたいと、私共と犬山市が共同で提案をさせていただいた。県の市長会を通じて国にあげていきたい。少しまだ足並みが揃わないところがあるが、それぞれの事務局レベルで協議を行い、しっかりとした要望事項としてまとめたい。 ・今、それぞれの自治体で、バス等の公共交通機関に対しての取り組みが違う。既に実証期間が過ぎたところ、あるいはバス会社に一定の負担金を払って委託運行しているところ、また私共のように直接、自治体が運営しているところと、いろいろなパターンがあるが、それぞれ、大変な状況である。今後とも、国の理解をいただきたいと思います。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他としては、以上であるか。
事務局（伊藤）	<ul style="list-style-type: none"> ・今、インターネットで確認したところ、「きんちゃんバス」でヒットしたものはないということである。「きんちゃんバス」で、よろしいかと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今、議題（４）その他について、説明していただいた。協賛金事業を展開して少しでも運行費用を確保するという、それから定期券のデザインの報告、それから今、中部運輸局から国の支援制度の説明があった。市長からは、国に恒久的な支援を要望する話があった。 ・報告事項であるが、質問等はないだろうか。
長崎委員 （バス協会）	<ul style="list-style-type: none"> ・参考資料について、質問というか提案である。 ・まず、協賛金の募集であるが、説明は車外広告のみであったが、車内広告は可能なのか。可能であれば、車内も活用した方が良い。 ・市民に愛着を持っていただくためにも、定期券には愛称を入れた方がいい。 ・愛知県バス協会としても、２月のシンポジウムには、是非参加していただきたい。
事務局（伊藤）	<ul style="list-style-type: none"> ・協賛事業であるが、参考資料を見ていただきたい。番号 i に「ポスター広告 車内 B3」とある。また、c の「ステッカー広告」は、中型バスの上の方の広告スペースである。ここはガラス面なので、両面に見える形の広告を考えている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・提案いただいたように、愛称が決まったら定期券にも愛称は入れるのか。
事務局（伊藤）	<ul style="list-style-type: none"> ・検討したい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・他に意見はないだろうか。
福田委員 （民生委員会）	<ul style="list-style-type: none"> ・広告収入も大事であるが、北部ルート、東部ルート、南部ルートを走る時に、車内に保育園児や学生の絵を展示してはどうか。また行事案内も掲示してはどうか。 ・保育園児の絵が展示されていたら、母親が子供連れでバスに乗車するのではないか。
事務局（伊藤）	<ul style="list-style-type: none"> ・他の市町村で、バスギャラリーを行っているところもある。 ・今、「車内 B3」のポスター広告の説明をしたが、こちらのスペースを使ってバスギャラリーを考えていきたい。マイクロバスにはそういったスペースはないので、あくまでも中型バスに限る。

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、PRの一環で取り組んでいただきたい。 ・豊田市に合併した藤岡町では、幼稚園児の年賀状を展示していた。
代理 梅田氏 (県交通対策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・広告の確認であるが、中型バスの広告に「バスマスク広告」とある。2ページの写真を見ると、きんちゃんマークが見えなくなるようだが…。
事務局(伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・確かにバスマスクは、前面が見えなくなる。バスマスクは、例えば、選挙の広告など、非常に短期間の広告が多い。正式には、バスマスク広告の導入は決定していないが、いずれにしても短期間で広告を考えている。
代理 梅田氏 (県交通対策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・実は今日早く来たのだが、三重交通の代車のバスが走っていた。表示には、近鉄弥富駅行きと書いてあったが、外から見れば三重交通のバスにしか見えない。弥富の「きんちゃんバス」であることがわかりにくいと思った。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・代車の時に、わかるような表示はしていないのか。
伊藤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・やはり今日乗ったバスが、ちょっとわかりにくかった。同じ意見である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・広告とは別の話だが、代車の場合に「きんちゃんバス」とわかるような対策はあるか。
事務局(伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・今までは、やっていない。乗降口にステッカーを貼る方式等、検討したい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・マグネットシートを使う場合が多い。 ・他に、意見はないだろうか。よろしいか。 ・それでは、先ほどの議題(3)に戻って、愛称の決定をしたい。事務局から報告があったように「きんちゃんバス」の名称はインターネット上でヒットしなかったということで、他で使われている可能性は低いと思う。平仮名で「きんちゃん」、片仮名で「バス」と、54通で応募が一番多かった「きんちゃんバス」でいかがだろうか。 ・「きんちゃんバス」の愛称を承認いただける方は、拍手をお願いする。
委員一同	拍手により承認
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんから拍手をいただいたので、「きんちゃんバス」を愛称に採用させていただきます。 ・4ページの愛称募集の要項を見ていただくと、採用者に記念品贈呈となっている。54名に記念品贈呈は難しいと思われるが…。
事務局(伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・記念品は、抽選で1名に贈呈する。記念品は、市のキャラクターのきんちゃんのぬいぐるみやバスの回数券を考えている。 ・今から公開で抽選を行いたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・54名の応募用紙はあるか。
事務局(伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・応募用紙はある。裏返しにして、どなたかに1枚、引いていただきたい。
代理 後藤氏 (臨海部企業連絡協議会)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民代表の女性の方で…。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・そうなるか…。 ・では、三村委員さんをお願いする。
三村委員 (公募委員)	1名を抽選により、決定

委員一同	拍手
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは事務局で、その方に記念品の贈呈をよろしく。応募者 54 通から抽選で決定した旨も、あわせて公表していただきたい。 ・議題はこれですべて終了した。 ・事務局から連絡事項がある。
事務局（伊藤）	<ul style="list-style-type: none"> ・次回、第 5 回協議会は、2 月末から 3 月上旬を予定している。来年度の予算の審議をお願いしたい。日程が決まり次第、連絡させていただく。その節は、出席くださるようよろしくお願いいたします。
服部市長	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な意見をいただき、感謝する。 ・皆さんのお力添えをいただき、新しい運行計画を作り上げていきたい。 ・本日審議していただいたルート、バス停の見直し、ダイヤの変更等については、4 月 1 日から運行することを考えている。よろしくお願いいたします。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは以上をもって、第 4 回弥富市地域公共交通活性化協議会を閉会する。今後とも協力をよろしく。
	以上